

基準 4 学生の受入

(1) 観点ごとの分析

観点 4-1-①： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められているか。

【観点到に係る状況】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、求める学生像が大学全体で定められており、大学全体の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、各学部において、育成する人財像、求める学生像、及び入学者選抜方針を明確に定めている。また、大学院についても、研究科ごとに求める学生像及び入学者選抜方法を定めている。これらは本学ウェブサイト上で1つのページに取りまとめて、広く公開している（資料 4-1-①-A、資料 4-1-①-B）。

資料 4-1-①-A 大学全体及び各学部・研究科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

三重大学
MIE UNIVERSITY

Google Custom Search 検索 サイトマップ ENGLISH

お知らせ 交通案内 キャンパスマップ お問い合わせ先

ホーム 大学概要 学部・大学院等 図書館 附属病院 センター 入試情報 附属学校園

受験生の方へ 企業・地域の方へ 卒業生向けコンテンツ 在学生用ページ 教職員用ページ

ホーム > 大学概要 > 3つの方針 > 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

3つの方針
Policy

三重大学の3つの方針

- 入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)
- 学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)
- 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

各学部・研究科の3つの方針

- 人文学部・人文社会科学研究科
- 教育学部・教育学研究科
- 医学部・医学系研究科
- 工学部・工学研究科
- 生物資源学部・生物資源学研究科
- 地域イノベーション学研究科

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

三重大学は次のような学生を求めます。

- 人や自然そして社会に対する豊かな感受性と幅広い関心を備えた学生。
- 日本語や英語などの基礎的な語学能力を身につけ、さらに多様な豊かな表現力やコミュニケーション力を培おうとする学生。
- 旺盛な学習意欲を持ち、新しい課題に積極的にチャレンジしようとする学生。
- 基礎的な知識を持つと同時に、広い視野や多様な視点からものごとをとらえ、主体的・論理的に考えようとする学生。
- 企画力や実行力などの実践的問題解決能力や独創性を身につけ、社会に貢献したいという意欲を持った学生。

上記の方針に基づき、学士課程においては学部ごとに、また大学院課程においては研究科ごとに、適切な選抜方法を定め、実施します。

(出典：本学ウェブサイト <http://www.mie-u.ac.jp/profile/policy/>)

資料 4-1-①-B 各学部・研究科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

学部名	URL
人文学部・人文社会科学研究科	http://www.mie-u.ac.jp/profile/policy/human.html
教育学部・教育学研究科	http://www.mie-u.ac.jp/profile/policy/edu.html
医学部・医学系研究科	http://www.mie-u.ac.jp/profile/policy/medic.html
工学部・工学系研究科	http://www.mie-u.ac.jp/profile/policy/eng.html

生物資源学部・生物資源学研究科	http://www.mie-u.ac.jp/profile/policy/bio.html
地域イノベーション学研究科	http://www.mie-u.ac.jp/profile/policy/innov.html

【分析結果とその根拠理由】

求める学生像を明記した大学全体のアドミッション・ポリシーを定めるとともに、各学部において、育成する人財像、求める学生像、及び入学者選抜方針が定められている。また、大学院についても研究科ごとに求める学生像を定めている。

以上のことから、アドミッション・ポリシーが明確に定められていると判断する。

観点4-1-②： 入学者受入方針に沿って、適切な学生の受入方法が採用されているか。

【観点に係る状況】

学士課程では、一般入試（前期・後期日程）、推薦入試、特別選抜（帰国生徒、社会人、私費外国人留学生）、アドミッション・オフィス入試、及び編入学試験による入学者選抜を実施している（資料4-1-②-A、資料4-1-②-B）。全ての入学者選抜で、アドミッション・ポリシーとともに入学者選抜方針が示され、その中で入学者選抜方法が明確に定められている（前掲資料4-1-①-B）。

一般選抜では、大学入試センター試験によって幅広い基礎学力を評価するとともに、本学における個別学力検査・実技試験・小論文・面接及び調査書等によって、専門的な学問を学ぶための学力と適性を測り、それらを総合して選抜している。

推薦入試、特別入試（帰国生徒、社会人、私費外国人留学生）、アドミッション・オフィス入試、及び編入学試験では、学力検査（英語、専門科目等）のほか、出願書類（調査書等）、小論文、面接や実技等を組み合わせて、適切な入学者選抜方法を採用している（資料4-1-②-C）。また、医学部医学科・看護学科では、地域の医療を支える人財育成の観点から、三重県内の高等学校若しくは中等教育学校出身者を対象とした「地域枠」を設けている。

大学院課程では、前掲別添資料1-1-②-1に示した各研究科の目的及び前掲資料4-1-①-Aで示した大学院のアドミッション・ポリシーに沿って、一般選抜と特別選抜（社会人、外国人留学生）、昼夜開講制による学生募集、推薦による学生募集を実施している（資料4-1-②-D、資料4-1-②-E）。筆記試験と口述試験（面接）によって、専門的知識や学力、研究遂行能力、専門分野に対する関心や意欲を総合的に判定している。また、医学系研究科医科学専攻及び生命医科学専攻、工学研究科、生物資源学研究科及び地域イノベーション学研究科においては、10月入学の制度を設け、アドミッション・ポリシーに沿った多様な受け入れ態勢をとっている（資料4-1-②-F）。

資料4-1-②-A 学部入試データ（志願者・受験者・合格者・辞退者・入学者）

<http://www.mie-u.ac.jp/exam/data/>

資料 4-1-②-B 編入学・私費外国人留学生入試データ（志願者・受験者・合格者・入学者）

（単位：人）

区 分		平成 2 2 年度					平成 2 3 年度					平成 2 4 年度					平成 2 5 年度					平成 2 6 年度				
		定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
編入学	人文学部	30	124	111	37	35	30	124	112	36	32	30	91	83	31	28	30	126	110	35	29	30	115	104	33	26
	医学部	10	34	33	20	10	10	24	24	13	8	10	25	24	15	10	10	28	27	17	10	10	34	29	10	5
	工学部	30	87	79	42	34	29	90	86	48	36	30	83	75	47	31	30	79	78	53	31	30	94	92	45	32
	生物資源学部	10	45	45	21	12	10	42	40	13	9	10	40	37	11	8	10	43	42	14	7	10	32	30	13	7
	合 計	80	290	268	120	91	79	280	262	110	85	80	239	219	104	77	80	276	257	119	77	80	275	255	101	70
私費外国人	人文学部	若干	32	29	4	3	若干	27	27	4	3	若干	40	39	5	3	若干	27	27	6	3	若干	25	25	5	3
	教育学部	若干	4	2	1	1	若干	11	8	4	1	若干	8	6	2	1	若干	10	8	2	2	若干	10	7	2	2
	工学部	若干	24	23	7	4	若干	53	53	14	8	若干	56	52	12	5	若干	50	47	10	7	若干	51	48	12	4
	生物資源学部	若干	8	7	2	1	若干	10	8	4	1	若干	1	1	1	1	若干	0	0	0	0	若干	0	0	0	0
	合 計	—	68	61	14	9	—	101	96	26	13	—	105	98	20	10	—	87	82	18	12	—	86	80	19	9

（出典：入試チーム作成資料）

資料 4-1-②-C 入試区分別入学者選抜方法一覧（学部）

区分		実施学部	選抜方法等
一般入試	前期日程	全学部	大学入試センター試験，本学が実施する個別学力検査，実技検査，小論文，面接及び調査書等
	後期日程		
推薦入試	大学入試センター試験を課さない	人文学部（法律経済学科 推薦 A, B）	調査書，推薦書，志願理由書，課題作文及び面接
		教育学部 推薦 I	小論文，面接，推薦書及び調査書等
		生物資源学部 推薦 I	小論文，面接及び出願書類
	大学入試センター試験を課す	人文学部（法律経済学科 推薦 C）	大学入試センター試験，調査書，推薦書，志願理由書及び面接
		教育学部 推薦 II	大学入試センター試験，調査書，推薦書，志願理由書及び面接
		医学部（医学科）	大学入試センター試験，小論文，面接
		医学部（看護学科）	大学入試センター試験，面接
		生物資源学部 推薦 II	大学入試センター試験，面接及び出願書類
特別入試	帰国生徒	人文学部	出願書類，小論文及び面接
		生物資源学部	総合問題（英語，数学，小論文の総合問題）・面接及び出願書類
	社会人	人文学部	出願書類，小論文，外国語及び面接
		生物資源学部	総合問題（英語，数学，小論文の総合問題）・面接及び出願書類
		医学部看護学科	小論文，英語，面接及び出願書類
	私費外国人留学生	人文学部	出願書類，小論文及び面接
		教育学部	口頭試問（理科系），は小論文及び面接（文科系），実技及び面接（実技系）
		工学部	出願書類及び口頭試問
		生物資源学部	面接及び出願書類
	アドミッション・オフィス入試	工学部	書類審査及び面接（機械工学科）
		（機械工学科，電気電子工学科，分子素材工学科）	書類審査及び面接，筆記試験（電気電子工学科） 書類審査及び面接（分子素材工学科）

3 年 次 編 入 学	一般（推薦）	人文学部（法律経済学科）	出願書類，面接
	一般（学力）	人文学部	出願書類，小論文，外国語，面接（文化学科） 出願書類，論述試験，面接（法律経済学科）
	社会人	人文学部	出願書類，小論文，外国語，面接（文化学科） 出願書類，小論文，面接（法律経済学科）
	私費外国人	人文学部	出願書類，小論文，面接
	一般	医学（看護学科）	専門科目，英語，面接
	推薦	工学部	出願書類，面接
	学力	工学部	出願書類，学力検査，面接
	一般	生物資源学部	学力試験，面接，出願書類

（出典：入試チーム作成資料）

資料 4-1-②-D 大学院入試データ（志願者・受験者・合格者・入学者）

（単位：人）

(単位:人)																										
区分		平成22年度					平成23年度					平成24年度					平成25年度					平成26年度				
		定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
人文社会科学研究科		10	28	26	13	13	10	34	33	14	14	15	26	25	16	15	15	22	21	15	15	15	27	27	15	14
教育学研究科		41	57	57	51	46	41	59	57	46	39	41	79	76	61	56	41	63	61	43	40	41	51	49	39	35
医学系研究科	修士	36	32	32	27	23	31	23	23	23	19	31	25	24	23	20	31	30	30	28	24	31	22	22	20	19
	博士	60	38	36	36	36	45	28	28	28	28	45	40	39	39	39	45	47	46	46	45	45	42	42	42	41
工学研究科	前期	148	305	294	261	246	216	278	275	258	243	216	297	289	267	255	216	279	274	244	230	216	262	256	236	226
	後期	16	12	12	12	12	16	13	13	13	12	16	13	13	13	13	16	12	12	12	12	16	5	5	5	5
生物資源学研究科	前期	88	167	158	130	113	88	145	135	110	96	88	117	104	95	90	88	130	126	113	99	88	103	99	89	83
	後期	12	5	5	5	5	12	15	15	14	12	12	15	14	14	13	12	9	9	9	9	12	6	6	6	6
地域イノベーション学研究科	前期	10	19	17	15	12	10	14	14	12	12	10	15	14	12	11	10	16	15	12	12	10	10	10	9	8
	後期	5	6	6	6	6	5	6	6	6	6	5	3	3	3	3	5	6	6	6	6	5	6	6	6	6
合 計		426	669	643	556	512	474	615	599	524	481	479	630	601	543	515	479	614	600	528	492	479	534	522	467	443

（出典：入試チーム作成資料）

資料 4-1-②-E 大学院入学者選抜方法一覧

研究科・課程	入学時期	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	昼夜開講制による学生募集	推薦による学生募集
人文社会科学研究科・修士課程	4月	○	○	○	○	
教育学研究科・修士課程	4月	○		○		
医学系研究科・修士課程 （医科学専攻）	4月 10月	○				
医学系研究科・修士課程 （看護学専攻）	4月	○	○			
医学系研究科・博士課程 （生命医科学専攻）	4月	○			○	
	10月	○			○	○国際推薦制度
工学研究科・博士前期課程	4月	○	○	○		○電気電子工学・物理工学
	10月		○	○		
工学研究科・博士後期課程	4月 10月	○	○	○		
生物資源学研究科・ 博士前期課程	4月 10月	○	○	○		
生物資源学研究科・ 博士後期課程	4月 10月	○	○	○		
地域イノベーション学研究科・ 博士前期課程	4月	○				

地域イノベーション学研究所・ 博士後期課程	4月 10月	○	○	○		
--------------------------	-----------	---	---	---	--	--

(出典：入試チーム作成資料)

資料 4-1-②-F 10月入学者数

(単位：人)

課程	研究科名	平成 21 年 10 月	平成 22 年 10 月	平成 23 年 10 月	平成 24 年 10 月	平成 25 年 10 月
修士・ 博士前期	医学系研究科	0	0	4	0	2
	工学研究科	0	0	0	0	1
	生物資源学研究所	6	6	3	3	4
博士後 期	医学系研究科	10	8	7	7	7
	工学研究科	6	4	4	3	4
	生物資源学研究所	7	3	3	4	3
	地域イノベーション学研究所	0	0	0	3	0
計		29	21	21	20	21

(出典：各研究科提供資料を基に作成)

【分析結果とその根拠理由】

学士課程，大学院課程のいずれも，アドミSSION・ポリシーに基づいた入学者選抜方法が明確に定められ，それぞれの選抜ごとに定められた方法で入学者選抜が適切に実施されている。

学士課程では，アドミSSION・ポリシーに沿って，私費外国人留学生，帰国生徒，社会人，編入学生に対する入学者選抜方針が定められ，その方針に基づいて各種選抜が実施されており，大学院課程では，各研究科の目的及び大学院のアドミSSION・ポリシーに沿って，社会人と留学生に対する入学者選抜を実施している。

以上のことから，入学者受入方針に沿って，適切な学生の受入方法が採用されていると判断する。

観点 4-1-③： 入学者選抜が適切な実施体制により、公正に実施されているか。

【観点に係る状況】

入学者選抜は，学長を委員長とする入学試験委員会の責任の下で実施されている。この体制の下で，各種選抜の実施要項と監督要領（別添資料 4-1-③-1）を作成し，これに従って実施している。個別学力検査前期・後期日程では，学長を実施委員長，統括・教育担当理事を実施本部長とする全学統一の実施本部を設置し，また推薦入学特別選抜，アドミSSION・オフィス入試，帰国生徒特別選抜，社会人特別選抜，私費外国人留学生特別選抜，編入学試験等の特別選抜は各学部の実施本部を設置する体制をとっている（資料 4-1-③-A）。

入学試験問題の作成については，問題作成委員と点検委員からなる「個別学力検査専門委員会」を設置して問題作成・点検の計画を策定し，これに従って実施している。試験問題の原稿完成から印刷完了までに，出題委員による校正と点検委員による点検を各 2 回以上行うとともに，印刷完了後も試験実施までに出題委員と点検委員による点検を随時実施している（別添資料 4-1-③-2）。

各種入学者選抜の方法，大学入試センター試験と個別学力検査の実施教科・科目及び配点等は事前に公表している。入学者選抜における学力検査，小論文，実技，面接の採点においては，受

験番号だけが表示されて匿名化されており、またそれぞれの試験が別々に採点されるシステムになっている。採点に際しては、試験毎に採点基準が設定され、小論文、実技、面接は複数の採点者によって採点あるいは評価が行われている。このように別個に採点された試験結果と集計が示された匿名の合否判定資料が入試実施委員会によって作成され、その資料に基づき教授会が合否判定を行っている。

大学院課程では、研究科毎に試験実施計画を定め、研究科長を責任者とする実施体制を布き、試験問題作成、試験実施及び入学者選考を行っている（資料 4-1-③-B）。

資料 4-1-③-A 三重大学入学者選抜実施規程

【別冊 42】大学規則集 p192～198

資料 4-1-③-B 各研究科の入学者選抜に関する実施体制

研究科名	委員会等名
人文社会科学研究科	入試実施委員会 研究科委員会
教育学研究科	教育領域代表者会議 研究科委員会
医学系研究科	医学系研究科大学院委員会 研究科教授会
工学研究科	入試委員会 研究科教授会
生物資源学研究科	入試実施委員会 研究科教授会
地域イノベーション学研究科	入試実施委員会 研究科教授会

（出典：各研究科提供資料を基に作成）

別添資料 4-1-③-1 平成 26 年度各種入学者選抜実施要領・監督要領【訪問調査時提示】

別添資料 4-1-③-2 平成 26 年度個別学力検査問題作成・点検要領【訪問調査時提示】

【分析結果とその根拠理由】

入学者選抜は、学長を委員長とする入学試験委員会の責任の下で、試験問題作成、採点、合否判定資料作成及び判定などの面において厳正かつ組織的に実施されている。

大学院も同様に研究科長を責任者とする実施体制を布き、厳正かつ組織的に実施されている。

以上のことから、入学者選抜が適切な実施体制により、公正に実施されていると判断する。

観点 4-1-④： 入学者受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。

【観点に係る状況】

毎年度、入学者選抜の結果をとりまとめた報告書（資料 4-1-④-1）を作成し、これを入学試験委員会で報告して意見交換を行うとともに、各学部にも提供して入試状況の把握と改善のために活用している。

学生受入に対する検証を行うために、高等教育創造開発センターの入学者選抜方法研究部門が、各種選抜方法とセンター試験、高校の学業成績、入学後の成績との相関関係等を経年的に調査・

分析する「入試フォローアップシステム」を構築している。このシステムによる調査・分析結果は、各学部から選出された委員で構成される三重大学入学者選抜方法研究委員会で活用され、入学試験委員会等を通じて各学部へフィードバックしている（資料 4-1-④-A, 4-1-④-2）。

さらに、三重大学への進学者が多い三重県及び愛知県の高校を対象として、各高校の進路担当者と各学部入試委員との意見交換会を、本学（津市）及び名古屋市内の施設においてそれぞれ年 1 回開催し、これら懇談会で交わされた意見についても改善に活用している（別添資料 4-1-④-3, 別添資料 4-1-④-4）。

また平成 26 年度入学者選抜から、医学部看護学科では個別学力試験の科目を英語・国語の 2 科目から英語 1 科目に見直し、また、生物資源学部（推薦Ⅱ）では推薦入試において基礎学力も見るために、センター試験を課すこととした（別添資料 4-1-④-5, 別添資料 4-1-④-6）。

資料 4-1-④-A 三重大学入学者選抜方法研究委員会規程

【別冊 42】大学規則集 p199～200

別添資料 4-1-④-1	平成 26 年度三重大学入学試験に関する調査【訪問調査時提示】
別添資料 4-1-④-2	平成 25 年度第 6 回入学試験委員会資料
別添資料 4-1-④-3	三重県高等学校進路担当者との協議会資料
別添資料 4-1-④-4	愛知県高等学校進路担当者との協議会資料
別添資料 4-1-④-5	入学試験委員会資料 医学部看護学科 26 年度からの個別学力試験科目の見直し
別添資料 4-1-④-6	入学試験委員会資料 生物資源学部推薦入試の見直し

【分析結果とその根拠理由】

アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するために、入学者選抜の結果報告書を毎年度作成し、改善のための資料として役立てている。また、「入試フォローアップシステム」によって、各種選抜方法とセンター試験、高校の学業成績、入学後の成績との相関関係についての追跡調査を実施している。さらに、三重県や愛知県の高校の進路担当者を交えた意見交換会を定期的に開催し、これら懇談会で交わされた意見についても改善に活用している。

以上のことから、入学者受入方針に沿った学生受入の検証が行われ、その結果を入学者選抜の改善に役立てていると判断する。

観点 4-2-①： 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

【観点到に係る状況】

学士課程では、過去 5 年間の実入学者数が、入学定員を大幅に越えたり大幅に下回ったりする状況は生じていない。

大学院課程では、医学系研究科医科学専攻（修士課程）において、実入学者の平均値が入学定

員を大幅に下回り、工学研究科分子素材工学専攻（博士前期課程）、材料科学専攻（博士後期課程）及び生物資源学研究科共生環境学専攻（博士後期課程）では実入学者の平均値が入学定員を大幅に超える状況になっている。

これらの状況を改善すべく、医学系研究科医科学専攻（修士課程）では、平成 23 年度に入学定員を 20 名から 15 名へ定員減を行い、状況の改善を図るとともに、社会人の就学に配慮するため、平成 26 年度から長期履修制度を導入するとともに、今後、昼夜開講制についても導入を検討するなどの改善策を打ち出している。

実入学者の平均値が入学定員を大幅に超えている、工学研究科材料科学専攻及び生物資源学研究科共生環境学専攻については、入学定員がそれぞれ 6 名、4 名と小さいため、入学者数と入学定員を一致させることは難しいところであるが、両専攻ともに、平成 26 年度は定員充足率を 1.0 倍にするなど、改善傾向にある。また、工学研究科分子素材工学専攻では、平成 23 年度に入学定員を 33 名から 55 名へ定員増を行い、状況の改善を図っている。

資料 4-2-①-A 実入学者が入学定員を大幅に超える、又は下回る専攻

課程	研究科名	専攻名	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		5年間 平均 (%)
			入学者数 入学定員	定員 充足率(%)	入学者数 入学定員	定員 充足率(%)	入学者数 入学定員	定員 充足率(%)	入学者数 入学定員	定員 充足率(%)	入学者数 入学定員	定員 充足率(%)	
修士・ 博士前期 課程	医学系研究科	医科学専攻	11 20	55	11 15	73	15 15	100	7 15	46	6 15	40	62
			70 33	212	56 55	101	70 55	127	61 55	110	62 55	112	132
博士後期 課程	工学研究科	材料科学専攻	8 6	133	10 6	166	10 6	166	6 6	100	6 6	100	133
			4 4	100	9 4	225	7 4	175	3 4	75	4 4	100	135

※大幅に超える…5年間平均欄130%以上。大幅に下回る…5年間平均欄70%未満。

（出典：大学現況表より抽出）

【分析結果とその根拠理由】

学士課程については、実入学者数と入学定員の大きな乖離はない。大学院課程において、実入学者が入学定員を大幅に超えている、または大幅に下回る状況になっている専攻があるが、それぞれの状況に応じて改善策に取り組んでおり、入学定員と実入学者数との関係の適正化を図っていると判断する。

（２）優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

- 1) アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入を一層進めるため、医学部医学科では、地域の医療を支える人財育成の観点から、地域枠を設けている。
- 2) 各種選抜方法と、センター試験、高校の学業成績、入学後の成績との関係等を追跡調査する「入試フォローアップシステム」を構築してデータ収集と調査・分析を行っており、調査・分析結果は、各学部から選出された委員で構成される三重大学入学者選抜方法研究委員会で活用され、入学試験委員会等を通じて各学部へフィードバックしている。
- 3) 三重県及び愛知県の高校の進路担当者を交えた意見交換会を定期的に行い、入学者選抜方法の改善に活用している。

【改善を要する点】

大学院課程において、実入学者が入学定員を大幅に超えている、または大幅に下回る状況になっている専攻があるが、それぞれの状況に応じて改善策に取り組んでいる。